

## 第1日目 9月22日 (土) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	<b>第34回地理教育公開講座</b>	
13:00	高校新設科目「地理探究」と 観光教育	
13:20	日本地理学会地理教育公開講座委員会 共催：日本地理教育学会	
	開始時刻 13:00	
13:40	井田仁康（筑波大）：新設科目「地理探究」と 交通・通信，観光	
14:00	澤 達大（京都文教大）：小中学校における観 光教育の実践事例—成果と課題	<GIS> 211 遠藤有悟（日本大・学）ほか：GISア プリを活用した地域研究—京都市中心 部における外国人旅行者の観光行動を 事例に
14:20	寺本 潔（玉川大）：地理が主導する小中高校 観光教育の課題と展望	212 原 雄一（京都学園大）：地図アプリで 歩く歴史・文化・自然の道「オルレ」
14:40	〔コメント〕 菊地俊夫（首都大）：観光学の視点から	213 増山 篤（弘前大）：パラメータ推定の 実行に伴う問題を解消するログサム型 時空間アクセシビリティ指標の定式化 と応用
15:00	ヤン ジャヨン（筑波大・院）：韓国の進路選 択科目「旅行地理」との比較の観点から	214 岩井優祈（筑波大・院）：津波避難先 に対する居住地のポテンシャル・アク セシビリティ—浜松市沿岸地域の事例
15:20	〔総括〕 秋本弘章（獨協大）	215 内藤健裕*（北海道大・院）・橋本雄一 （北海道大）：積雪寒冷都市における 津波災害時避難困難人口の推定—北海 道釧路市を事例に
15:40	終了時刻 16:00	216 桐村 喬（皇學館大）：1935年の東京市 における会社員の居住地分布
16:00	16:00~17:30	<人口> 217 埴淵知哉*（中京大）・山内昌和（早稲 田大）：国勢調査における「不詳」の 関連要因
16:20	公開講座 地理総合講習会	218 丸山洋平（札幌市立大）：人口移動の 影響を考慮した親子同居の実質的地域 差
16:40	次期高校学習指導要領の公表を承けて	219 小池司朗（社人研）ほか：出生力と死 亡力の地域差が地域別将来推計人口に 及ぼす影響
17:00		

## 第1日目 9月22日 (土) 午後

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
		13:00
		13:20
		13:40
<p>&lt;農業・農村&gt;</p> <p>311 神田竜也（岡山後楽館高・非常勤）：岡山県奈義町における集落営農法人の展開と農業連携の可能性</p> <p>312 矢澤優理子*（千葉大・院）・古谷勝則（千葉大）：農業政策の展開を背景とした堤外農地の変遷過程に関する考察</p> <p>313 伊賀聖屋（名古屋大）：超集約的な食料の生産空間の生成</p> <p>314 児玉恵理（和歌山工業高専）：紀の川市における桃作農業の展開</p> <p>315 寺内 愛（鹿児島大・院）・深瀬浩三*（鹿児島大）：輸入鶏肉急増下における鹿児島県のプロイラー養鶏地域の存続</p> <p>316 矢ヶ崎典隆（日本大）：アメリカ合衆国におけるテンサイ糖工場の立地と移動</p> <p>317 佐々木 緑（広島修道大）：オーストラリアにおける稲作経営の特徴と干ばつ時の戦略</p> <p>318 NGUYEN Quang* (Okayama Univ., Grad. Student)・KIM Doo-Chul (Okayama Univ) : Farmers' landholding strategy in urban fringe areas: A case study of a transitional commune near Ho Chi Minh City, Vietnam</p> <p>319 森永由紀（明治大）ほか：モンゴルの牧民の馬乳酒製造法II—モゴド郡におけるウマの飼養法のGPSによる調査</p>	<p>&lt;観光&gt;</p> <p>411 北田晃司（近畿大・非常勤）：栃木県における国際観光の動向と展望</p> <p>412 LUO Yanjie* (Ph.D. Student, Keio Univ.)・KAWABATA Mizuki (Keio Univ.) : Spatial cluster analysis of inbound accommodation guests visiting Hokkaido</p> <p>413 SASAKI Lidia* (Tokyo Metropolitan Univ.)・TAKATORI Yasuko (Agricultural Policy Research Committee) : Emergence of Satoyama-based inbound tourism and its challenges: Case study of Hida area, Gifu prefecture</p> <p>414 辰己佳寿子（福岡大）ほか：インド・ラダックにおける山岳観光と地域ガバナンス</p> <p>415 坂口 豪（首都大・院）：ジオパークにおけるガイド養成講座の開講プロセスと受講者による評価—浅間山北麓ジオパークを事例として</p> <p>416 周 宇放（筑波大・院）：ジオパーク制度による中国自貢市における井塩景観の維持</p>	<p>14:00</p> <p>14:20</p> <p>14:40</p> <p>15:00</p> <p>15:20</p> <p>15:40</p> <p>16:00</p> <p>16:20</p> <p>16:40</p> <p>17:00</p>

## 第 1 日 目 9 月 22 日 ( 土 ) 午 後

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
13:00		
13:20		
13:40		
14:00	<p>&lt;気候&gt;</p> <p>511 立入 郁 (海洋研究開発機構) ほか: 気候変動によるアジア・アフリカ乾燥地帯への影響</p>	<p>&lt;地形・植生&gt;</p> <p>611 佐々木夏来 (東京大) ほか: SfM写真測量と積雪観測から検討した安比高原における湿地の成立環境</p>
14:20	<p>512 菅野洋光 (農業・食品産業技術総合研究機構) ほか: キリバス共和国における ENSO と同期した降水量変動について</p>	<p>612 猪狩彬寛 (法政大・院) ほか: 草津白根山周辺地域の水環境に関する研究 (2)</p>
14:40	<p>513 西森基貴 (農業・食品産業技術総合研究機構) ほか: 日本における将来のコメ品質低下リスクと地域適応策策定への利用</p>	<p>613 水野一晴* (京都大) ・大谷侑也 (京都大・院) : ケニア山とキリマンジャロの近年の氷河縮小とその自然や社会に与える影響</p>
15:00	<p>514 日下博幸*・ドアンクアン ヴァン (筑波大) : 東南アジアの急発展する大都市の気候の将来予測—ホーチミン都市圏を対象として</p>	<p>614 チャクラバルティ—アビック (和歌山大) : 複合的環境変化の理解における質的分析の重要性</p>
15:20	<p>515 中川清隆 (立正大) ほか: 層内冷熱源を有する Summers 型夜間都市境界層高度の式</p>	<p>615 藤本 潔 (南山大) ほか: 海面上昇がマングローブ生態系に及ぼしつつある影響—沖縄県西表島の事例</p>
15:40	<p>516 中島 虹 (首都大・院) ほか: 晴天弱風夜間の東京における風の周期的変動の特徴</p>	<p>616 宮城豊彦 (東北学院大) ほか: 今 マングローブに年輪があると判ること—パラダイムシフトがおきる</p>
16:00	<p>517 西 暁史 (筑波大・院) ほか: ドップラーライダーで観測された富山平野の山谷風・海陸風の発生と結合</p>	<p>617 鈴木重雄 (駒澤大) : 里山の植生の時系列変化の地域的差異—埼玉県と広島県の集落の比較</p>
16:20	<p>518 高橋日出男 (首都大) ほか: 温度プロファイラ観測による東京都心の気温鉛直分布</p>	<p>618 小川滋之 (静岡大) : 日本にみられるスイゼンジナの伝播経路</p>
16:40	<p>519 遠藤伸彦*・西森基樹 (農業・食品産業技術総合研究機構) : 中部日本における日射量の時空間分布の特徴</p>	<p>619 江口誠一 (日本大) : タイ王国内における熱帯季節林下の植物珪酸体からみた古植生復原</p>
17:00		

## 第1日目 9月22日 (土) 午後

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
		13:00
		13:20
		13:40
<p>&lt;漁業&gt;</p> <p>711 菅澤雄大(岩倉高)・佐島 健*(校成学園中・高):東日本大震災以降の岩手県三陸地方におけるワカメ養殖業の復旧・復興—一宮古市重茂地区・田老地区を事例に</p> <p>712 前田竜孝(関西学院大・院):大阪府深日における水産物直売施設の開設に伴う漁業経営体への影響—経営状況と集出荷作業に注目して</p> <p>&lt;都市&gt;</p> <p>713 上村博昭(尚美学園大):東京大都市圏の郊外核における商業空間の再編成—埼玉県川越市の事例</p> <p>714 加藤ゆかり(筑波大・院)ほか:開業者ネットワークの形成を通じた中心市街地の持続性に関する一考察—長野県伊那市を事例として</p> <p>715 後藤 寛(横浜市立大):大型小売店の立地とファッションブランド店の集積状況にみる都市階層体系</p> <p>716 木谷隆太郎(東京都立府中東高):東京都杉並区高円寺駅周辺商店街の発達・変化と若者の街化のプロセス</p> <p>717 池田真利子(学振PD・東京学芸大):アンダーグラウンドからスタートアップ—ヘーベルリンのクラブシーンを巡る動向</p> <p>718 生井澤幸子(川村学園女子大):港の多機能化に伴う軍港都市キールとヴェルヘルムスハーフェンの変容</p>	<p>&lt;歴史&gt;</p> <p>811 洪 明真(首都大・院):江戸後期における日本橋地域の復原地図の作成—『江戸買物独案内』と歴史GISによる</p> <p>812 細井将右(地図情報研):明治初期フランス地図測量技術の導入とその後—陸軍士官学校の『地形学教程』への影響</p> <p>813 古関大樹*(京都女子大・非常勤)・福永正光(愛知県土地家屋調査士会):奈良県下における地籍編製地籍地図</p> <p>814 飯沼健悟(岐阜県土地家屋調査士会):岐阜県を事例とした公共長狭物の歴史的検証</p> <p>815 増山聖子(奈良工業高専・非常勤):福田理軒・治軒をめぐる新出資料について</p> <p>&lt;文化&gt;</p> <p>816 和田 崇(県立広島大):英語圏諸国におけるスポーツ地理学の研究動向</p> <p>817 松山周一(筑波大・院):「聖地巡礼」を誘発する場所の表象とその特性—『ラブライブ! サンシャイン!!』を事例に</p> <p>818 渡辺和之(阪南大):宗教的祭礼が促進する家畜交易—ネパールのカトマンズにみるヒンドゥー教の秘祭でのチャングラ山羊</p>	14:00
		14:20
		14:40
		15:00
		15:20
		15:40
		16:00
		16:20
		16:40
		17:00

## 第2日目 9月23日 (日) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	シンポジウム S01 (公開)	シンポジウムS02
9:00	<p style="text-align: center;">統計データの利活用と地理学</p> <p style="text-align: center;">日本地理学会理事会 オーガナイザー：松原 宏(東京大)</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 9:00</p> <p>[座長] 松原 宏(東京大)</p> <p>S101 9:00-9:20 [趣旨説明] 松原 宏(東京大)：統計データの利活用と地理学</p> <p>S102 9:20-9:40 谷道正太郎(総務省)：先進的なデータ利活用拠点「統計データ利活用センター」の役割について</p> <p>S103 9:40-10:00 中内啓文(和歌山県データ利活用推進センター)：データ利活用推進への取組について</p> <p>S104 10:00-10:20 森 大輔(内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局)：地域経済分析システム(RESAS)ーデータの見える化による地方創生の情報支援</p> <p>S105 10:20-10:40 水内俊雄(大阪市立大)：「和歌山県データを利活用した公募型研究」に参画して</p> <p>S106 10:40-11:00 秋山祐樹(東京大)：マイクロジオデータの発展と地理学における活用</p> <p>[休憩] 11:00-11:10</p> <p>[総合討論] 11:10-12:00</p>	<p style="text-align: center;">サンゴ礁保全の現在とこれから</p> <p>オーガナイザー：中井達郎(国土館大・非常勤)・目代邦康(日本ジオサービス)・チャックラバルディー アビック(和歌山大)・自然保護問題研究グループ</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 9:00</p> <p>[趣旨説明] 9:00-9:05 目代邦康(日本ジオサービス)</p> <p>S201 9:05-9:30 中井達郎(国土館大・非常勤)：サンゴ礁保全の課題と地理学の役割</p> <p>S202 9:30-9:55 渡久地 健(琉球大)：漁師のサンゴ礁空間認識ー「場」の多様性とその価値</p> <p>S203 9:55-10:20 長谷川 均(国土館大)：地理学の視点から見たサンゴ礁海岸の開発と保全</p> <p>S204 10:20-10:45 山野博哉(国立環境研)：グローバル・スケールで見るサンゴ礁保全と地理学の役割</p> <p>S205 10:45-11:10 中野義勝(琉球大)：サンゴ礁保全の現状と課題ーマイクロ vs. マクロ, 地理学への期待</p> <p>[コメント] 11:10-11:20 目崎茂和(三重大名誉教授)</p> <p>[総合討論] 11:20-12:00</p>
12:00	<p style="font-size: 2em;">昼 休 み</p>	

## 第2日目 9月23日 (日) 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
<p style="text-align: center;">シンポジウムS05</p> <p style="text-align: center;">ジェントリフィケーションの フロンティア</p> <p>オーガナイザー：藤塚吉浩(大阪市立大)・菊地俊夫(首都大)・立見淳哉(大阪市立大)・若林芳樹(首都大)</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 9:00</p> <p>〔座長〕 立見淳哉 (大阪市立大)</p> <p>〔趣旨説明〕 9:00-9:05 藤塚吉浩 (大阪市立大)</p> <p>S501 9:05-9:25 SHIN Hyun Bang (London School of Economics and Political Science) : Linguistic fluidity and the spectre of (planetary) gentrification</p> <p>S502 9:25-9:45 PHILLIPS Martin (Univ. of Leicester) : Rural gentrification going global?</p> <p>S503 9:45-10:05 池田真利子 (学振PD・東京学芸大) : スタートアップ都市・ベルリンのジェントリフィケーションと創造性</p> <p>S504 10:05-10:25 藤塚吉浩 (大阪市立大) : 2000年以降のジェントリフィケーションの変化—東京を事例に</p> <p>S505 10:25-10:45 川口夏希 (大阪市立大・研) : ルーラル・ジェントリフィケーションの分岐点—兵庫県篠山市の経験</p> <p>〔コメント〕 飯塚 遼(秀明大)・若林芳樹 〔総合討論〕 座長 藤塚吉浩・立見淳哉 〔総括〕 菊地俊夫 (首都大)</p>	<p style="text-align: center;">シンポジウムS03</p> <p style="text-align: center;">中国改革開放40年の再考 —フィールド調査の経験から—</p> <p>オーガナイザー：小島泰雄 (京都大) ・小野寺淳 (横浜市立大) ・高橋健太郎 (駒澤大) 中国地理研究グループ</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 9:00</p> <p>〔第1部〕 9:00-10:00 〔座長〕 小野寺 淳 (横浜市立大)</p> <p>S301 小島泰雄 (京都大) : 農民の生活空間の変遷からみた中国の改革開放—シンポジウムの問いをめぐって</p> <p>S302 張 貴民 (愛媛大) : 改革開放以来における中国農村の変化と課題</p> <p>S303 季 増民 (椋山女学園大) : 改革開放に伴う中国の郊外地域における変容—長江デルタ地域を事例に</p> <p>S304 高橋健太郎 (駒澤大) : 広東省のムスリムから中国の改革開放40年を考える</p> <p>〔第2部〕 10:05-11:05 〔座長〕 高橋健太郎 (駒澤大)</p> <p>S305 許 衛東 (大阪大) : 構造調整下における中国のLED照明産業の立地動向と国際的生産連鎖に関する一考察—華南からの観察</p> <p>S306 阿部康久 (九州大) : ホワイアカラーの就職移動からみた中国社会の変化—珠江デルタ地域への移動者を中心に</p> <p>S307 杜 国慶 (立教大) : 観光にみる人の移動と地域変容</p> <p>S308 小野寺 淳 (横浜市立大) : 改革開放期の都市化の特性—珠江デルタ地域における研究を踏まえて</p> <p>〔討論〕 司会 小島泰雄 (京都大) 〔コメント〕 松村嘉久 (阪南大) 〔総合討論〕 11:15-12:00</p>	<p>9:00</p> <p style="margin-top: 500px;">12:00</p>
<p>昼 休 み</p>		

## 第2日目 9月23日 (日) 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
9:00		
9:20		
9:40		
10:00		
10:20	<p>&lt;気候&gt;</p> <p>521 加藤内藏進（岡山大）ほか：暖候期の高知・岡山間の気候学的な降水量差に寄与する日々の降水や大気場に関する解析（瀬戸内式気候に関連して）</p>	<p>&lt;災害&gt;</p> <p>621 今野明咲香*・遠田晋次（東北大）：活断層近傍における土地利用規制帯の現状と課題—2016年熊本地震の地震断層出現範囲との比較を通して</p>
10:40	<p>522 渡来 靖*・鈴木信康(立正大)：DSJRA-55データによる東海～関東南岸域に発生する収束線の統計解析</p>	<p>622 塩崎大輔*（北海道大・院）・橋本雄一（北海道大）：ICT及びWebGIS技術を援用した避難訓練システムの利活用</p>
11:00	<p>523 松本健吾（岡山大・院）ほか：中国～東西日本における梅雨期の日々の降水特性と季節進行に関する気候学的解析（序報）</p>	<p>623 上芝卓也(国土地理院)ほか：全国109水系の洪水浸水シミュレーションのWeb公開に向けた取組について</p>
11:20	<p>524 関 陽平*（三重大・院）・立花義裕（三重大）：最低気温前日差から見た冬季北海道の際立った気候</p>	<p>624 黒木貴一*（福岡教育大）・品川俊介（土木研）：2017年九州北部豪雨で災害を免れた神社の地形条件</p>
11:40	<p>525 永野良紀*・加藤央之（日本大）：北海道留萌における風速の急変動現象発生時の気圧場推移</p>	<p>625 中埜貴元（国土地理院）ほか：湛水量推定にDEMの違いが及ぼす影響</p>
12:00	<p>昼 休 み</p>	

## 第2日目 9月23日（日） 午前

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
		9:00
<p>&lt;地理教育&gt;</p> <p>721 山本隆太（静岡大）：ESD・SDGsの文脈におけるジオパーク教育の理論と実践</p>	<p>&lt;地域政策&gt;</p> <p>821 花谷和志（兵庫県立大・学）：人文地理学によるリスケーリング論の再検討にむけた基礎的研究</p>	9:20
<p>722 岡本彩花（岡山大・院）ほか：中山間地域の高専によるESD学習の実践と課題—岡山県内の3高専を事例に</p>	<p>822 久井情在（社人研）：中心なき合併市町村におけるスケール戦略を活用した地域づくり—山梨県北杜市の事例</p>	9:40
<p>723 河本大地（奈良教育大）ほか：山間地域における「へき地教育」の性格の変化—奈良県十津川村の大字出谷の事例を中心に</p>	<p>823 廣瀬俊介（東京大）ほか：景観の内容を重視した都市景観形成—住民と学生による栃木県宇都宮市「釜川周辺地区」景観形成計画検討を例として</p>	10:00
<p>724 二村太郎（同志社大）：AAGが主催する大学教員向けワークショップについて—2018年度Geography Faculty Development Allianceワークショップ参加報告</p>	<p>824 柴辻優樹*（慶應義塾大・院）・河端瑞貴（慶應義塾大）：公営住宅立地に着目した東京都区部における母子世帯居住特性の探索的空間データ分析</p>	10:20
<p>725 宇根 寛*・岡谷隆基（国土地理院）：国土地理院の情報を生かした地理教育レシピ案</p>	<p>825 石原 肇（大阪産業大）：基礎的自治体とコンビニエンスストアとの地域包括連携協定</p>	10:40
<p>726 山内啓之（東京大）ほか：地理歴史科教員や教員養成課程の学生のためのGIS実習用教材の開発</p>	<p>826 土田慎一郎（北海道大・院）：起業を伴う農村への移住行動に関する研究—北海道東川町を事例として</p>	11:00
<p>727 栗栖悠貴（国土地理院）：地形に刻まれた災害リスクを学ぶコンテンツの開発</p>	<p>827 中村 努（高知大）：中山間地域における単身高齢者の食生活とソーシャル・キャピタル</p>	11:20
<p>728 村山良之（山形大）ほか：地元素材を用いた小学校の防災教育教材開発—山形県庄内地方における1964年新潟地震災害</p>	<p>828 渋谷鎮明（中部大）：韓国の「美しい林全国大会」における「村の林」の評価と風水思想の論理</p>	11:40
		12:00
<p>昼 休 み</p>		

## 第2日目 9月23日 (日) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
13:00	<p>緊急シンポジウムS00 (公開)</p> <p><b>緊急シンポジウム</b> <b>西日本豪雨災害</b></p> <p>日本地理学会理事会 オーガナイザー：日本地理学会災害対応本部</p> <p style="text-align: right;">開始時刻 13:00</p> <p>[趣旨説明] 13:00-13:05 鈴木康弘 (名古屋大)</p> <p>S001 13:05-13:25 海津正倫 (奈良大)</p> <p>S002 13:25-13:45 須貝俊彦 (東京大)</p> <p>S003 13:45-14:05 石黒聡士 (愛媛大)</p> <p>S004 14:05-14:25 後藤秀昭 (広島大)</p> <p>S005 14:25-14:45 松多信尚 (岡山大)</p> <p>S006 14:45-15:05 松原 宏 (東京大)</p> <p>[総合討論] 15:15-16:00</p> <p style="text-align: right;">終了時刻 16:00</p>	<p>シンポジウムS04</p> <p><b>山岳地域の自然環境と社会</b> <b>—現在と未来—</b></p> <p>オーガナイザー：チャクラバルティアー アビック (和歌山大)</p> <p style="text-align: right;">開始時刻 13:00</p> <p>[趣旨説明] 13:00-13:05 チャクラバルティアー アビック</p> <p>[座長] チャクラバルティアー アビック</p> <p>S401 13:05-13:30 チャクラバルティアー アビック (和歌山 大)：北アルプスの事例から見た人新世 における動的自然の保全の課題</p> <p>S402 13:30-13:55 若松伸彦 (横浜国立大)：自然環境の 変化を許容することの重要性—上高地 を例にして</p> <p>S403 13:55-14:20 伊藤 圭 (三俣山荘グループ)：山小屋 視点から見た奥黒部の生活およびエコ ツアートレールとして伊藤新道の再開 通案</p> <p>S404 14:20-14:45 目代邦康 (日本ジオサービス)：山の 自然の保護とはなにか—赤石山脈を例 に</p> <p>[総合討論] 14:45-15:00</p> <p style="text-align: right;">終了時刻 15:00</p>
17:00		

第2日目 9月23日 (日) 午後

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
	<p style="text-align: center;">シンポジウムS06</p> <p style="text-align: center;">食の人類史から モンスーンアジアの風土を読む</p> <p>オーガナイザー：松本 淳（首都大）・荒木一 視（立命館大）・横山 智（名古屋大）・ モンスーンアジアの風土研究グループ</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 13:00</p> <p>[趣旨説明] 13:00-13:10 松本 淳（首都大）</p> <p>[座長] 浅田晴久（奈良女子大）</p> <p>S601 13:10-13:50 招待講演 佐藤洋一郎（京都府立大）：食のパッ ケージからみたモンスーンアジアの風 土</p> <p>S602 13:50-14:20 基調講演 荒木一視（立命館大）：「モンスーン アジアのフードと風土」これまでの取 り組みとこれから</p> <p>S603 14:20-14:40 松本 淳（首都大）：気候学からみたモ ンスーンアジアの風土</p> <p>[休憩] 14:40-14:50</p> <p>[座長] 遠藤 尚（東北学院大）</p> <p>S604 14:50-15:10 小岩直人（弘前大）：モンスーンアジ アの地形環境から食を検討する</p> <p>S605 15:10-15:30 浅田晴久（奈良女子大）ほか：モン スーンアジアにおける近年の稲作技術 展開</p> <p>S606 15:30-15:50 小島泰雄（京都大）：辛い四川料理と モンスーンアジア</p> <p>[座長] 横山 智(名古屋大)</p> <p>[総合討論] 15:50-16:30</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 16:30</p>	<p>13:00</p> <p>17:00</p>

# 第1・2日目 9月22・23日 (土・日)

## ポスター会場 1

### ポスター発表

ポスター発表は、9月22日(土)13時～18時までと9月23日(日)9時～12時まで、ポスター会場で行います。発表者による説明は、上記時間内の各ポスターに掲出してある時間帯に行われますので、多くの会員の参加を希望します。なお、今大会は、1日目の昼休み後の一般発表の開始時刻を14時としました。懇親会開始前の時間と共に、ポスター発表時間としてご活用下さい。

- |   |   |
|---|---|
| P101 小荒井 衛* (茨城大)・今泉利架 (朝日航洋) : ジオパークの地図に向けた地形表現法について   | P114 両角政彦 (都留文科大) : 大規模畑作地域における集約的農業への参入と撤退—北海道小清水町のユリ生産の追跡調査をもとに               |
| P102 佐藤裕哉* (下関市立大)・富田哲治 (県立広島大) : 地域分析へのオープンデータの活用と課題—病児保育施設へのアクセス格差の検証を例に                    | P115 鷹取泰子* (農政調査委員会)・佐々木リディア (首都大) : 北海道の農山村におけるインバウンド旅行者向けのサイクル・ツーリズムに関する予察的調査 |
| P103 田中雅大 (学振PD・名古屋大) : 触地図の社会的位置づけに関する批判地図学的考察   | P116 横山秀司 (九州産業大) : ジオツーリストマップの作成の試み—久住山への登山道を事例に                               |
| P104 永迫俊郎 (鹿児島大) : 沖永良部島中学生へのアンケート調査からみた島立ちと郷土の認識   | P117 北島晴美*・横山俊一 (信州大) : POSデータからみた長野県における凍り豆腐消費の地域差                             |
| P105 吉田 真 (筑波大・院) : 過疎地域における生活支援サービスの供給状況の空間的偏り—山梨県北杜市須玉町を事例に                                 | P118 根元裕樹 (目白大学短期大学部) : GIS教育に向けた条件の検討と地図バズルシステムの開発                             |
| P106 小保田春加 (信州大・院) : 千曲川流域、長野盆地に見られる災害文化  | P119 松尾朱夏 (大分大・院) : 附属小学校の教員を対象とした地域学習に関する意識調査                                  |
| P107 大谷真樹 (大阪市立大・院) : 日本統治期の朝鮮における河川事業の展開—土木技術者の流動性と開発思想                                      | P120 木村 翠 (お茶の水女子大・院) ほか : 日本の大学における地理教育の現状についての予察的研究                           |
| P108 横林泰宏 (大阪市立大・院) : 日本統治下の台湾における甘藷と米の空間的相剋  | P121 山内洋美 (宮城県塩釜高) : スマホから世界を眺めると—当事者としてSDGsを考えるための高校地理授業—必修となる地理総合を視野に         |
| P109 土居晴洋 (大分大) ほか : 20世紀半ばの北京市における墓地の立地と殯葬政策   | P122 新井教之 (京都教育大学附属高) : サモアを事例にSDGsを考える授業                                       |
| P110 辻 貴志 (佐賀大) : フィリピン・パラワン島におけるパラワンの家畜預託に関する予備的研究   | P123 南埜 猛 (兵庫教育大) ほか : 流域を事例としたESDの授業プランの提案                                     |
| P111 兼子 純 (愛媛大) ほか : 韓国地方都市の中心商業地における店舗構成の変化—釜山大都市圏・梁山市を事例として                                 | P124 阪上弘彬* (兵庫教育大)・川端光昭 (岐阜工業高専) : 持続可能なトライアングルモデルを用いた地理授業実践                    |
| P112 後藤健介* (大阪教育大)・PANDITHARATHNE N.G.S. (スリランカ保健省) : スリランカにおける選挙人名簿から作成した住民分布図における年齢別居住特性の把握 | P125 薬師寺恒紀 (慶應義塾大・学) : 簡易水道事業の実態—東京都利島村での2016年の湧水を一例として                         |
| P113 鈴木修斗 (筑波大・院) ほか : 農山村地域の地域コミュニティによる移住促進活動の多様性—長野県伊那市を事例に                                 | P126 村山 徹*・駒木伸比古 (愛知大) : 地理学の知見を活かした政策情報データベース作成の試み                             |

# 第1・2日目 9月22・23日 (土・日)

## ポスター会場 2

### ポスター発表

ポスター発表は、9月22日(土)13時～18時までと9月23日(日)9時～12時まで、ポスター会場で行います。発表者による説明は、上記時間内の各ポスターに掲出してある時間帯に行われますので、多くの会員の参加を希望します。なお、今大会は、1日目の昼休み後の一般発表の開始時刻を14時としました。懇親会開始前の時間と共に、ポスター発表時間としてご活用下さい。

- |   |  |
|---|--|
| P201 東 善広 (滋賀県琵琶湖環境科学センター) ほか：礫床河川における河道変化と河床材粒径の関係について | P212 大和広明 (長野県環境保全研) ほか：長野市における夜間のヒートアイランド強度の時系列変化と郊外の接地逆転強度との関係   |
| P202 吉田一希 (国土地理院)：表層堆積物と傾斜度からみた河成複式地形の類型                | P213 浜田 崇 (長野県環境保全研) ほか：学校教室におけるクーラー設置の有無による暑熱環境の比較                |
| P203 南雲直子 (土木研) ほか：ネパール国ウエストラプティ川の流路変動                  | P214 神居幸恵* (日本大・院)・森島 済 (日本大)：近年における山形盆地のアウトウ収量変動の要因               |
| P204 中田 高 (広島大名誉教授) ほか：「アジアのデジタル活断層マップ」プロジェクト           | P215 小山拓志 (大分大) ほか：2017-2018年に発生した大分県内における土砂災害の特徴                  |
| P205 松多信尚 (岡山大) ほか：2014年長野県北部の地震 (神城断層地震) のネット変位量       | P216 青山雅史 (群馬大)：那珂川・久慈川流域における液状化発生域の土地条件の再検討                       |
| P206 山田周二 (大阪教育大)：高解像度DEMを用いた世界の山地の山頂周辺の起伏および傾斜を表す地図の作成 | P217 研川英征 (国土地理院) ほか：平成29年7月22日からの梅雨前線に伴う大雨による雄物川の浸水範囲—治水地形分類図との比較 |
| P207 石原武志 (産総研)：郡山盆地で掘削されたオールコアの層序 (第2報)                | P218 矢巻 剛 (法政大・院) ほか：長崎県島嶼の水環境特性と形成要因 (2)                          |
| P208 高橋未央 (弘前大) ほか：小松平野のボーリング試料に挟在する広域テフラの発見とその意義       | P219 浅見和希 (法政大・院) ほか：御嶽山噴火 (140927) 後の周辺水環境に関する研究 (7)              |
| P209 永田紘基* (日本大・院)・加藤央之 (日本大)：8月の関東の北東気流時における天気特性について   | P220 堀内雅生 (法政大・学) ほか：箱根山噴火 (150629) 後の周辺水環境に関する研究 (5)              |
| P210 瀬戸芳一 (首都大) ほか：夏季の南関東における局地風系の交替時刻の地域分布             | P221 須貝俊彦 (東京大)：防災教育における地域地形発達史研究の重要性                              |
| P211 阿部聖史* (日本大・院)・加藤央之 (日本大)：関東地方における花粉濃度の空間分布特性       |  |